

令和 7 年度 自動車騒音常時監視調査事業

仕 様 書

筑 西 市

I 一般事項

1. 目的

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、筑西市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施する。

また、自動車騒音常時監視報告書及び環境省への報告資料を作成する。

なお、環境省が配布する面的評価支援システム（最新版）を用いて、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」（平成27年10月30日付け環水大大第1510301号、環水大自発1510301号 環境省水・大気環境局長通知 以下、「評価マニュアル」という。）及び「騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成23年9月14日付け環水大自発110914001号 環境省水・大気環境局長通知）に沿った評価対象路線の環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策への反映を図る資料とする。

2. 履行期限

契約締結日翌日 から 令和8年3月16日 まで

3. 業務内容

自動車騒音の測定、データ処理、市及び環境省への報告資料作成。詳細は特記事項による。

4. 準拠する法令等

本業務は、この仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとする。

- (1) 環境基本法（平成5年11月19日法律第91号）
- (2) 騒音規制法（昭和43年6月10日法律第98号）
- (3) 騒音に係る環境基準（平成10年9月30日環境庁告示第64号）
- (4) 「騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成23年9月14日付け環水大自発110914001号 環境省水・大気環境局長通知）
- (5) 騒音に係る環境基準の評価マニュアル（平成27年10月30日付け環水大大第1510301号、環水大自発1510301号 環境省水・大気環境局長通知）
- (6) 自動車騒音常時監視マニュアル（平成27年10月30日付け環水大自発1510303号 環境省水・大気環境局自動車環境対策課）
- (7) その他関係法令等

5. 貸与資料

本業務の遂行に当たり、受託者に以下のものを貸与する。

- (1) 面的評価専用ノート型パソコン（筑西市備品）
- (2) 都市計画用途地域図
- (3) 環境省面的評価支援システム（システム用データ、操作マニュアル含む）

- (4) (株)KERNEL GISエンジン (ActiveMap for.NET)
- (5) 国土地理院 数値地図25000 (空間データ基盤)
- (6) 住宅地図 (Zmap-TOWN II) (株式会社ゼンリン)
- (7) その他業務遂行上必要と認められる資料

6. 成果品の帰属

本業務で得たすべての成果品は市に帰属するものとし、市の承諾を得ずに許可なく第三者に貸与及び公表してはならない。

7. 打ち合わせ等

- (1) 業務を適正かつ円滑に実施するため、受託者は、市担当者と常に密接な連絡をとり、業務の方針、条件等の疑義を正すものとし、その内容についてはその都度、受託者がすべて議事録に記録し、相互に確認しなければならない。
- (2) 受託者は、仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、速やかに市担当者と協議するものとする。

8. 関係官庁への手続等

- (1) 受託者は、本業務の実施に当たっては、市が行う関係官庁等への手続に協力するものとする。
- (2) 受託者は、関係する官公庁との協議を必要とする場合、又は協議を求められた場合は、誠意をもって対処し、その内容を議事録にまとめ、遅滞なく市に届け出なければならない。

9. 土地への立ち入り

- (1) 受託者は、本業務を実施するため、国有地、公有地に立ち入る場合には、市と十分な協議を行い、業務が円滑に進捗するように努めなければならない。また、私有地に立ち入る場合には、所有者の許可を得た上、市に報告しなければならない。
- (2) 受託者は、本業務を実施するため、他人の植物を伐採し、垣、柵等を除去し、又は土地若しくは工作物を一時使用するときは、あらかじめ市に報告するものとし、市の指示を受けて所有者の承諾を得るようにするものとする。

10. 成果品の提出

- (1) 受託者は、本業務が完了したときは、この仕様書に示す成果品を早急に提出し、市の検査を受けるものとする。
- (2) 受託者は、市の指示する場合には、履行期間途中においても、成果品の部分引き渡しを行うものとする。

11. 検査

- (1) 受託者は、業務完了報告書を提出する際には、仕様書に義務づけられた資料の整備をすべて完了し、市に提出していなければならない。

(2)受託者は、市の立会いの下に、以下の検査を受けるものとする。

①成果品の検査

②業務等管理状況の検査

(3)成果品に欠陥が発見された場合、受託者は、速やかに修補を行わなければならない。

(4)電子納品物の確認検査は以下の手続きとする。

面的評価支援システムで電子データのエラーチェックをし、エラーがないことをP C上で相互（委託者及び受託者）確認したことをもって、電子データの納品確認を行う。エラーがある場合は、不適合品という扱いを行う。この場合も(3)同様、速やかに補修を行うこと。

(5)契約満了後に不備が発覚した場合でも、誠意をもってこれの補修にあたること。

12. 契約変更

市は、次の各号に掲げる場合において、業務委託契約の変更を行うものとする。

(1)契約料に変更を生じる場合

(2)履行期間の変更を行う場合

(3)市と受託者が協議し、業務施行上必要があると認められる場合

13. 一時中止

次の各号に該当する場合において、市は、受託者に必要と認める期間、業務の一部又は全部を一時中止させることができる。

(1)第三者の土地への立ち入り許可が得られない場合

(2)関連する他の設計業務が遅れたため、業務の続行を不相当と認めた場合

(3)環境問題等の発生により、業務の続行が不相当または不可能となった場合

(4)天災等により業務の対象箇所の状態が変動した場合

(5)安全確保上必要があると認めた場合

14. 破損、故障等

受託者は、面的評価専用ノート型パソコンを使用した際に、破損、故障等を起こした場合は速やかに修理を行わなければならない。

15. 守秘義務

受託者は、業務の遂行上、知り得た事項を他人に漏らしてはならない。

16. その他

(1)調査等に当たっては、適切な危険防止の措置を講ずるとともに、近隣住民に迷惑とならないように十分配慮すること。

(2)受託者は、環境省が配布する面的評価支援システム及び当該システムの稼働状況の改定等があった場合に、速やかに対応するものとする。

- (3)受託者は、評価マニュアル及び自動車騒音常時監視報告(環境省水・大気環境局自動車環境対策課)の改定等があった場合は、速やかに対応するものとする。
- (4)受託者は、成果品等すべて正常な状態で市に返却、提出すること。
- (5)受託者は、常時監視結果を環境省へ提出後、確認及び修正依頼があった場合は、市と協議の上適切に対応するものとする。

Ⅱ 特記事項

1. システムのセットアップ

貸与するパソコンに面的評価支援システム、GISエンジン、住宅地図等をセットアップし、動作確認を行う。その際、面的評価支援システムは最新バージョンとする。

2. 評価区間の設定

評価区間は別紙に示す 8路線 12区間 30.7km を評価区間と設定する。

3. 現地調査（区間種別：実測区間）

現地調査については以下の項目を実施する。なお、測定地点の選定については、受託者が面的評価を行う上で最適と思われる地点を考案し、市と協議を行いながら実施する。

- (1) 道路近傍における道路交通騒音測定（各1地点、10分間隔24時間測定）
- (2) 背後地における騒音測定（各1地点、昼間2回・夜間2回、各10分間以上）
- (3) 交通量及び平均走行速度の測定（各1地点、昼間2回・夜間2回、各10分間以上）

4. 面的評価（区間種別：実測区間、推計等区間）

面的評価支援マニュアルに基づき、以下の作業を行う。

- (1) 道路設定
- (2) 沿道設定
- (3) 騒音設定
- (4) 騒音推計

5. 報告書作成

騒音等調査結果、評価方法及び評価結果等を取りまとめた業務報告書を作成する。

6. 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

- (1) 業務報告書（A4紙、1部）
- (2) 業務報告書電子データ（CD-ROM、1式、業務報告書のPDFファイル及び調査データを含む。）
- (3) 環境省報告様式（1部、令和7年度自動車騒音常時監視結果報告要領（環境省）の様式に準じる。）
- (4) 環境省報告電子データ及び令和8年度実施計画（CD-ROM、1式）

【別紙】 令和7年度 評価区間

No.	路線名/路線番号		種別	センサス番号	始 点	終 点	距離 (km)
1	一般国道 50 号	50	実測	13040	「下館バイパス横塚入口」交差点	「門井」交差点	2.5
			推計	13050	「門井」交差点	桜川市境	1.6
			推計	13130	結城市境	50 号（結城バイパス）合流	2.0
2	一般国道 294 号	294	実測	22060	下妻市境	「辻」交差点	1.7
			推計	22070	「辻」交差点	「一本松」交差点	5.5
3	県道結城下妻線	15	実測	40600	結城市境	県道筑西三和線交差点	4.1
			推計	40610	県道筑西三和線交差点	下妻市境	0.8
4	県道明野間々田線	54	実測	42400	「海老ヶ島」交差点	「黒子」交差点	5.6
5	県道荻島真壁線	151	推計	61420	県道つくば真岡線交差点	桜川市境	0.7
6	県道下館停車場線	305	推計	63890	下館駅北口交差点	「田町」交差点	0.7
7	県道下館停車場荒線	306	推計	63900	下館駅北口交差点	「荒町」交差点	0.6
8	県道真岡筑西線	316	実測	64030	真岡市境	一般国道 294 号線交差点	4.9

30.7